



## ☆優秀業績表彰：みちの学校

神戸市建設局

## 1 取り組みの背景

神戸市では、道路整備や再開発・区画整理事業などにより、快適な通行確保、美しい街並み形成を進めてきた。しかし、放置自転車などにより、まちの美しさが失われ、また事故の原因となっている。今、市民が「大切に使うこと」が求められている。

## 2 取り組みの概要

「みちを大切に使う気持ち」を育むため、小学生と職員が一緒になって「みち」の勉強をする「みちの学校」を開いている。総合的な学習などの時間に、「みちのバリアフリー」や「自分たちのまち・みち」について勉強する。17年度は25校で実施。

## 3 学習の効果（アンケート）

## ① 先生の感想

- ・今後も同様の取り組みを行いたい。
- ・町を歩きながら、説明を聞くことができ理

解しやすかった。

- ・地域の題材に触れて説明してくれたのでわかりやすかった。

## ② 生徒の感想

- ・止めてはいけない場所、点字ブロックの上には自転車をとめないようにする。
- ・自転車でスピードを出しすぎないようにする。狭い歩道を広がって歩かないようにする。
- ・体の不自由な人がいたら助け合うのが大事。
- ・商店街の人などが、ベンチや花壇を置いてくれてすごいと思った。
- ・建設局の人が、いろいろ教えてくれて勉強になった。
- ・自分たちのまちが前より好きになった。
- ・自分たちのまちは、安全に作られたいい町だった。

## ③ 保護者の感想

- ・私自身もよい勉強になった。
- ・専門の人に教えてもらうのは、子どもにとってよい機会。



どんなこと感じますか？



授業の様子（講義）



授業の様子（まちあるき）